

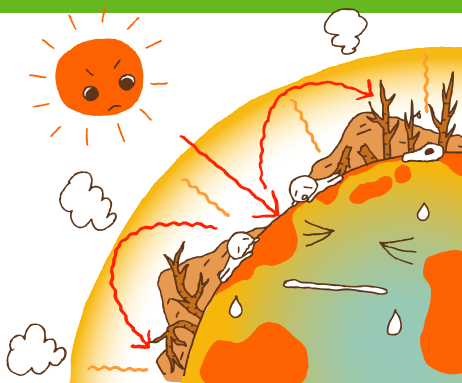
低炭素社会の構築

私たちは、自分や家族、次の世代のために、あるいは地球の自然とすべての生命のために、ライフスタイルを変えることができるのでしょうか。「未来の子供達に美しい自然を残したい。」そのためには、私たちが今までどおりの生活を続けていては果たせないのです。これまでの生活を見直し、CO₂発生を抑制するライフスタイルを選び、低炭素社会を構築しなければならないのです。

低炭素社会を構築する理由

地球環境の現状

CO₂などの温室効果ガス（GHG: Green House Gases）の増加により、地球表面から出てくる赤外線を吸収・再放出しているため大気中に熱が溜まり、地球温暖化が進んでしまっています。本来自然界で発生していたCO₂は、森林や海洋による吸収によりバランスがとれていたのですが、人間が化石燃料を消費するようになり、吸収しきれなくなっていました。



地球温暖化の一番の原因は二酸化炭素!!



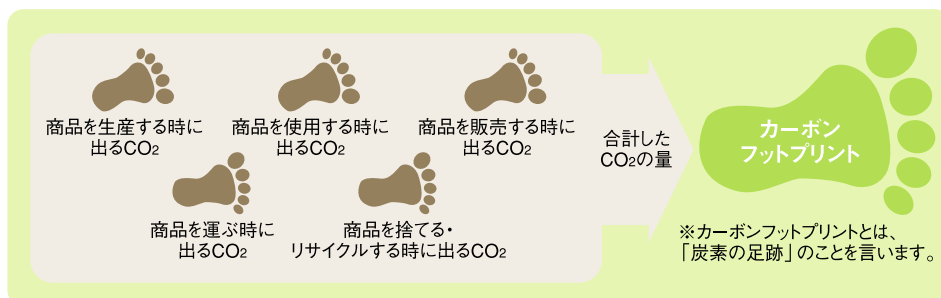
温室効果ガス

GHG: CO₂（二酸化炭素）のほかに、メタン（CH₄）、亜酸化窒素（N₂O）、フロン（CFCs・HCFs）などがあります。

CO₂が増加してしまったのは、化石燃料（石油や石炭、天然ガスなど）をエネルギーとして電気を起こしたり、自動車を走らせた、冷暖房を使用したため熱を排出していることが原因です。このまま地球温暖化が進むと、100年後には大気中の温室効果ガスが増え、平均気温が上がり、多くの生き物が死んでしまうと予測されています。

CO₂排出量を減らすための取り組み

私たちの毎日の食卓に並んでいる食品は、遠距離から運んできたり、季節外れの野菜や果実をエネルギーを使って温室栽培していたりと、化石燃料が大量に使われています。食品に限らずユニード販売し、お客様に購入していただく商品やサービスは、原材料の採取・生産・流通・販売・消費・使用から、使用が済むまで（廃棄やリサイクル）の一生、LCA（ライフサイクルアセスメント[※]）を通して多くのエネルギーを使っています。そのエネルギーは、化石燃料（石油・石炭・天然ガスなど）から得られ、地球温暖化の原因となる温室効果ガスを大気中に排出します。



これらの商品やサービスの一生（LCA）で排出される温室効果ガス排出量をCO₂換算した数値を「カーボンフットプリント（炭素の足跡）」といいます。このカーボンフットプリント・マークが商品に表示され、環境負荷のより少ない商品を優先的に選択・購入したりリサイクルするなど、お客様の主体的な買い物行動においてCO₂排出削減が期待されています。また事業者の立場からは、CO₂排出量の多い製造工程を知り改善することで、CO₂を効果的に削減することができます。

※「ライフサイクルアセスメント」製品のライフサイクルにおける環境負荷を定量的に評価する手法

「京都議定書」CO₂の見える化

2005年2月に発効された「京都議定書」のなかで、数値目標達成の施策として「CO₂の見える化」がうたわれています。その具体策となる「カーボンフットプリント制度」構築に向け、2008年6月に経済産業省が中心となり「カーボンフットプリント制度の実用化・普及推進研究会」ならびに「CO₂排出量の算定・表示に関するルール検討会」を発足しました。